

東日本大震災の記録

いわき市内の県立高校の被災と復旧(途中経過報告)



いわき建設事務所建築住宅課
主任建築技師 新矢晃子

施工場所:いわき市内各所

1. 概要

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による地震・津波と4月11日・12日の余震により被災した県立高等学校において、それぞれ災害復旧工事を実施している。

- ①いわき海星高校:津波被害からの復旧
- ②磐城農業高校:地震被害からの復旧
- ③湯本高校:地震被害からの復旧



位置図

2. 各高校の工事概要及び課題等

①いわき海星高校:津波被害からの復旧

【工事概要】

【総工事業業費】約11億7千万円

【発注済み工事】高さ約3.3mの津波で被災した校舎棟1階・実習棟の復旧工事及び体育館等解体工事、グラウンド復旧工事

【今後の発注予定工事】体育館・実習棟・寄宿舍改築工事、造成工事、海岸沿い実習棟等解体工事。これらの工事を平成24年度下旬から平成25年度中に順次発注・実施し、平成25年度中の全体復旧を目指している。

【課題等】

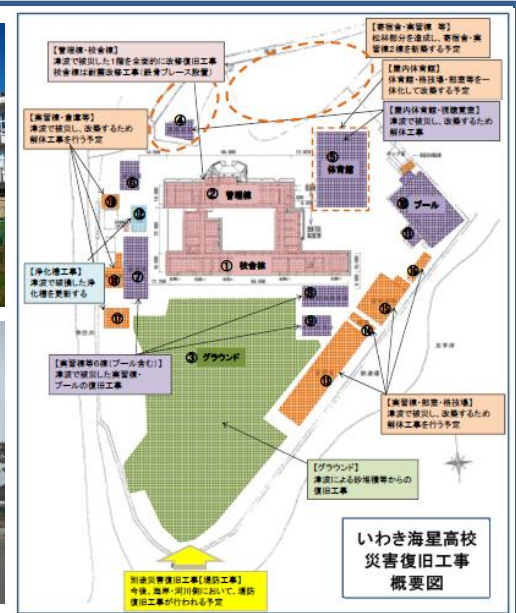
- ・複数の工種の工事が同一敷地内で同時進行するため、作業手順の調整などを行う必要がある。同様に、別途行われる予定の海岸及び河川に面した堤防復旧工事とも調整を図る必要がある。
- ・校舎棟2階以上や実習棟の一部では通常授業が行われているため、学校運営に支障をきたさないよう、工事を実施する。



復旧工事中 校舎棟



体育館 被災状況



いわき海星高校
災害復旧工事
概要図

②磐城農業高校：地震被害からの復旧

【工事概要】

【総工事業費】約23億2千万円

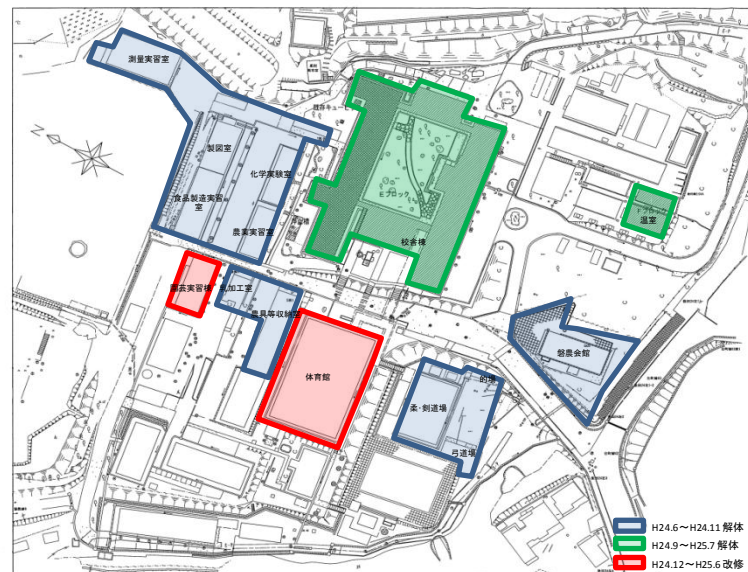
【発注済み工事】解体工事・一部改修工事・法面復旧工事

【今後の発注予定工事】造成工事・新築工事

地震により損壊した校舎棟外を改築し、損傷した体育館外を改修する。造成工事・新築工事は平成25年度に発注予定。

【課題等】

- ・損壊した建物内でアスベスト撤去作業を行う必要があるため、作業員の安全や利用者・近隣住民の安全・健康への特別な配慮が必要である。
- ・敷地内で多工種の工事が錯綜するため、動線の確保・工期の管理が困難である。



③湯本高校：地震被害からの復旧

【工事概要】

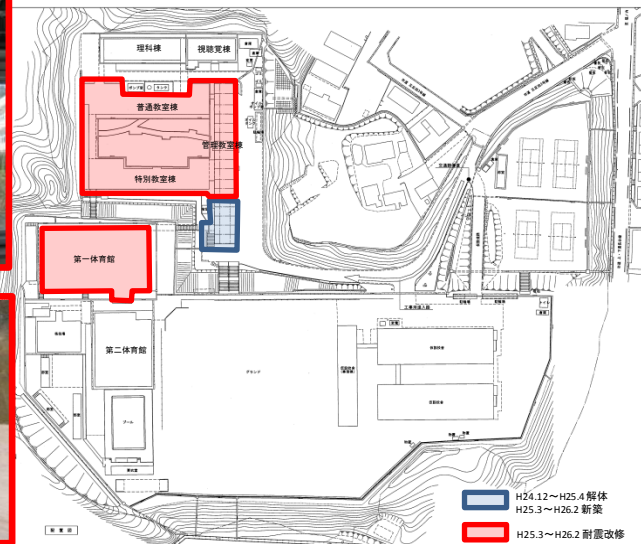
【総工事業費】約5億1千万円

【発注済み工事】解体工事(改築部分)

【今後の発注予定工事】新築工事・耐震改修工事
地震により損壊した管理教室棟を改築し、他校舎及び体育館を耐震改修する。新築工事及び耐震改修工事は平成24年度内に発注予定。

【課題等】

- ・工事ヤードが狭く、動線の確保が困難であるため、綿密な工程調整及び搬出入計画が必要となる。
- ・工事用進入路に制限があり、杭の引抜及び基礎解体の工法や重機の選定を慎重に行う必要がある。



3. おわりに

それぞれの高校の災害復旧工事においては各々特有の課題があるが、生徒の安全確保を図りながら着実に工事を実施していきたい。